

第24回東京都臨床工学会 主要プログラム

教育講演1

世界から見た日本の透析～これからCEに求めること～

講師:木全直樹(東京女子医科大学 血液浄化療法科)

世界各国の診療内容と治療方針を比較する大規模観察研究(DOPPS)の結果と、透析患者が減少するだろう国内でのCEの役割

教育講演2

OnlineHDF施行に必要な水質管理

講師:星野武俊(明理会中央総合病院 臨床工学科)

Online HDF施行に必要な透析液の清浄度と管理法、その技術面の知識やコツ

特別企画

臨床工学技士の地位向上、待遇改善のために

講師:肥田泰幸(公益社団法人 日本臨床工学技士会 臨床工学技士連盟)

業務や待遇は法律で決まる! 政権、内閣府へのアプローチが一番の近道

ワークショップ1

VA長期保存・適正使用を目指す！

臨床工学技士によるVA管理

座長：川崎忠行（日本臨床工学技士会 会長）
村上 淳（東京女子医科大学 臨床工学部）

演者：「クリアランスギャップによるVA管理」
小野淳一（川崎医療福祉大学 医療技術学部）

「VA再循環のモニタリング」
鈴木雄太（東京女子医科大学 臨床工学部）

「エコーによるVAモニタリング」
安部貴之（東京女子医科大学 臨床工学部）

「実血流量の測定意義と穿刺針の選択」
佐々木裕介（埼玉医科大学総合医療センター MEサービス部）

ワークショップ2

集中治療室での役割、敗血症に対する治療戦略！

ICUにおける臨床工学技士の役割

～スペシャリストに聞く！患者管理！～

座長：奥田晃久（東京慈恵会医科大学附属病院 臨床工学部）
岡本一彦（日本大学病院 臨床工学室）

演者：「敗血症に対する急性血液浄化療法」
相馬 泉（東京女子医科大学 臨床工学部）

「敗血症ARDSに対する呼吸管理」
石高拓也（東大和病院 臨床工学科）

「敗血症治療に必要なモニタリング」
三木隆弘（日本大学病院 臨床工学室）

シンポジウム1

診療加算新設！CEがどこまでできるか

透析患者の足病変～下肢救済へ向けた臨床工学技士の役割～

座長：大谷祐美(東京女子医科大学 臨床工学部)
兼田浩一(吉川内科小児科 ME室)

演者：「クリニックにおける下肢救済への取り組み」
原嶋美幸(下落合クリニック 臨床工学技士課)

「透析室におけるPAD早期検出のためのモニタリング(ABI, SPP)」
岡島友樹(東京女子医科大学 臨床工学部)

「透析患者のPADに対するLDL吸着療法」
川上崇志(玄々堂君津病院 臨床工学科)

「下肢救済のための末梢血幹細胞による血管再生治療」
川口琢也(千葉東病院 血液浄化センター)

シンポジウム2

手術領域の業務拡大！専門臨床工学技士制度制定！

手術室業務における臨床工学技士の役割と業務拡大

基調講演：「新たな専門臨床工学技士制度の確立 ～手術室業務～」
萱島道徳(奈良県立医科大学附属病院 医療技術センター)
(公益社団法人 日本臨床工学技士会 手術室業務検討委員会)

座長：萱島道徳(奈良県立医科大学附属病院 医療技術センター)
関川智重(四谷メディカルキューブ 臨床工学科)

演者：「CEによる清潔補助業務を開始して」
佐藤百合子(東大和病院 臨床工学科)

「ロボット支援手術とCEの役割について」
松本貴之(埼玉がんセンター 臨床工学部)

「専門性クリニックにおける内視鏡手術機器の安全管理」
木村哲也(四谷メディカルキューブ 臨床工学科)

「大学病院における手術室に必要な臨床工学技士」
野澤隆志(杏林大学医学部付属病院 臨床工学室)

よくわかるシリーズ

血液浄化関連

「透析液清浄化の意義と手技」

瀧澤亜由美(東京女子医科大学 臨床工学部)

「失敗しない穿刺技術！」

田中健太郎(豊島中央病院 臨床工学科)

呼吸管理関連

「本当に正しい使い方知っていますか？酸素ボンベ・酸素器具」

佐々木雄一(東京慈恵医科大学附属病院 臨床工学部)

「やさしく理解できる換気モード」

相良 文(日産厚生会玉川病院 臨床工学科)

循環器関連

「ECMOをやれって言うけど、PCPSと何が違うの？」

鈴木健一(日本医科大学付属病院 臨床工学部)

「心臓カテーテル最前線」

村澤孝秀(東京大学医学部付属病院 医療機器管理部)

ME機器関連

「不整脈の判読テクニック」

小原健一(日本光電工業株式会社 人材開発センタ)

「心電図モニタの使用テクニック」

別所郁夫(東邦大学医療センター大橋病院 臨床工学部)

養成校セッション

臨床工学技士の養成校に通う学生のセッション
養成校ではどんな研究をしているのか？
将来、学術に長けた臨床工学技士が誕生するキッカケに！
学生同士が交流できるように！
といった目的のセッションです。

みんなおいでよ！病院紹介！（Yボード企画）

東京都には病院642施設、一般診療所12681施設あります（厚労省）
それぞれの病院で臨床工学技士がどのような業務をしているのか？
待遇や雰囲気を実際に働くスタッフに聞いてみよう！
2016年ベストプレゼン賞を決定いたします！
多くの病院の方々からの応募をお待ちしております。
当日は、是非投票に来てください！

Y・ボード企画！「あると役立つ、学校では教えてくれないスキル」

「気の利いたバイトに出来るような仕事をしていませんか？」

山田紀昭（済生会横浜市東部病院 臨床工学部）

「統計処理と考え方～身近なデータを使ってみんなで考えてみよう～」

若山功治（東京女子医科大学 臨床工学部）

「伝えるチカラ、人を動かすプレゼンとは」

宮本 直（国立病院機構東京病院 麻酔科）

「ストレスを切り離す、休日の歩き方」

亜厂耕介（東京慈恵会医科大学附属病院 臨床工学部）